

所がシートルに渡り、サンフランシスコに移り、三年四年と経つ中に例の排日問題が頭をもたけ出して来て日本人しさへ見れば誰れ彼れの差別なく、悪口を言い、石を投げ、窓硝子を破壊するなど實に亂暴狼藉を極めたのであつた。其中にも甚だしかつたのは隔離学校問題で、自今日本入學童を米人の學校に入學させない規定したので、是には私共も忍耐しきれず、一方華盛頓の帝國大使館に其の旨を陳情すると同時に他方日本に向つて電報の連發を遣つて根本的の解決を求めて、而して此の結果は私共の期待した如く遂に外交問題となつたが、意外にも紳士協約なるものが日米兩國の間に取結はれて、結局日本の労働者は絶対に北米大陸に入る事が出来なくなつた、單に經濟上の法則とか智識とか云へ

農業式の新智識を要す(上)

世の諺に「己を知るは他を知るの初めなり」と云ふことがあるが、人の世に立つや先づ己を知ること云ふことは根本の必要條件である、學問上の小點等を了解して始めて他と共同的の事業が出来るのであるが、若し然らざれば、折角遣り懸た仕事も途中失敗に陥り、無意義に終ることが決して少なくないのである。

私は明治三十五年に北米へ出立する際に、大陸侯(其の當時は伯爵)の處へに暇乞に上つたら、侯は例の樂天的大元氣で「君は愈々亞米利加へ行くか、海外へ行つて一つ奮發して見るのも可いが、外國へ行つたら時に外交の犠牲に逢ふことを覺悟して懸らんと成功はできないが」と言はれたが私は其の時輕く唯々答へた丈で

世の諺に「己を知るは他を知るの初めなり」と云ふことがあるが、人の世に立つや先づ己を知ること云ふことは根本の必要條件である、學問上の小點等を了解して始めて他と共同的の事業が出来るのであるが、若し然らざれば、折角遣り懸た仕事も途中失敗に陥り、無意義に終ることが決して少なくないのである。

私は明治三十五年に北米へ出立する際に、大陸侯(其の當時は伯爵)の處へに暇乞に上つたら、侯は例の樂天的大元氣で「君は愈々亞米利加へ行くか、海外へ行つて一つ奮發して見るのも可いが、外國へ行つたら時に外交の犠牲に逢ふことを覺悟して懸らんと成功はできないが」と言はれたが私は其の時輕く唯々答へた丈で

植民地云々はす皆根柢から破壊せられて何も歟も總て新規播直しの憂目に陥つたのであつたが、此の時始め私は大陸侯からの訓言を思い出して、味いある哉と叫んである。然らば大陸侯の此の訓言が如何なる意味であつたか、言ふまでもなく、海外に在る者は能く各自の位置と、長所と、短所とを了解して對手國の國人に對さないと間違が起るが、間違が起つてから、外交問題なぞ挂ぎ出した所が、在留同胞は結局犠牲となるを免かれぬと云ふことを戒められたのである、而して此の訓戒は獨り北米に於ける同胞に對して必要であるのみならず、伯刺西爾に在る私共に於つても亦服膺しなければならぬ緊要の事であると思ふ。

# 白和西爾時報

**NOTICIAS DO BRAZIL**  
Publicado semanalmente  
**Rua Conselheiro Furtado**  
**No. 89**  
**S. Paulo, Brazil**  
**Proprietario e editor**  
**Seisaku Kuroishi**

は、私共の臺所の切盛までが其の範圍に入るもので、而かも其の法則を應用する是否とは、其の結果に大なる差異が生ずるから、事業家の決して等閑に附すべからざるものである

## ●僕の鳥打帽子

茅原華山

「郷に入つては郷に從へ」といふことは少くとも二様の意味がある、一は其國の習俗に従ふことであるが、一は其國を理解し同情するといふことでなければならない、日本人は歐羅巴、亞米利加に来ては、努めて其國の習俗に従はんとするやうだが、果して其國の理解であり同情があるかといへば、これは頗る怪しいものだ。

歐米人が日本を理解せんと努力するやうに徹底的に歐米を理解せんとする心的努力をするかといへば、これも亦頗る怪しいものだ。

僕の知る限りに於て、僕の鳥打帽子は先づ紺育に於て問題と爲つた、或世話を焼きの日本人が「紺育で鳥打帽子を冠つてゐるものは労働者だけである。何うか中折れに代へて貰ひたいものだ」

僕の曰く「鳥打帽子を冠ぶるといふことが紺育の習俗を破壊することに爲るのか、それならば僕も一つ考へやう、が僕は旅行者である、地球の表面を二箇年で漂泊し盡くさうとするのに、帽子を幾つも有つてゐては荷に爲つて叶はない。世話を焼先生の曰く、何にも紺育の習俗を破壊するといふ譯ではないが勞働者と間違へられた、僕は腹の中で出たなあと思つた、何が出た、例の面目が出来た、見つさ

ふのは、果して郷に入つては郷に從ふること、心から來るのであらうか、それとも面目體面で、支那人の所謂結構だ、私も一個の精神的労働者だ

ハラで可いのだ。されば私の説りであるのだといった。僕はブレーン、ミスター、カヤハを附け始めた、船の中でも白人がドクタと呼び出しが、伯刺西爾へ来てから、バイヤの入カーロス、シルバアといふもののから筆蹟ご寫眞などを呉れろといふ手紙が來た、其肩書きが懼れ入るではないが、グランド、アンド、イラストリヤス、ジャーナリストといふのだ。

僕は斯んな肩書きを頂戴するよりは勞働者と間違へられた方が餘程仕合せだ。

鳥打帽子がリオ、デ、ジャネーロでも問題に爲つた、リオでは鳥打帽子を冠つてゐるものは新聞の賣子位のものだといふ。

新聞記者と新聞賣子、大した違ひもあるまいではないか、然し僕は鳥打帽子を獎勵するものではないから君若し好意あれば詣ふ山高でも中折れでも買つて呉れ玉乎、伯國に居る間は誰んで冠つてゐやう、ろして乗船の際、人足にでもつけられれば可い、といつたが、その人は言責を重んじないで、言つたとげで買つては寄越さんだ。

サン、パウロには今少し親切な人があつた、僕に帽子を買つて遣らうといふのだ、其人は僕に鳥打以外の帽子を買つて呉れやうといふのだ、僕はさう取つた、一番其計畫の裏を搔いて呉やうといふので、何うく十ミルの鳥打帽子を散財させた。

日本人が其服装に異常の注意を拂ふのは、果して郷に入つては郷に從ふること、心から來るのであらうか、

いと見にを張る心から來るのである。  
門戸を張る、見内を張る、日本  
は内は火の車でありながら、客に  
しては不相応の饗應を爲して、内  
火の車を隠敵しやうとする風が一  
に行はれる、門戸を張る、見内を  
る、見つともない、自己を暴露し  
しては不相応の饗應を爲して、内  
火の車を隠敵しやうとする風が一  
に行はれる、門戸を張る、見内を  
る、見つともない、自己を暴露し  
ては不相応の饗應を爲して、内  
火の車を隠敵せんとするのであるか  
商人の如きは破産、夜逃げより外  
途なきに至る。

支那に於ける朝鮮に於ける南洋に於ける日本本人の態度を見よ。支那はチャンコロと罵られる。朝鮮人はヨボと罵られる。南洋では右に劍に左にコーコンのマホメットを氣取つて等國の品物を買へ然らずんば攀こ来る。日本の政治家、外交家、浪人の輩は支那人を外壓的に壓服せんとして支那で大失敗を遭つたのは衆が見ゆる所である。

何處に其國を理解し其國に同情する寛大なる世界精神があるか、伯西爾に來て日本の衣を着け伯刺西爾は三等國である。日本は一等國である。一等國の衣を三等國で着るのに不都合がこれあらんや。威張るものがある。

日本人が異常に其服装に注意をふ其事は決して惡くはないが機は自分と他と差別するが爲めに力を張るいふことはより來たゞれりは決して健全の動機ではない。へば紐育に居る日本人は我らは太平洋の米國に居る日本の土百姓とはふさういつて自ら差別して居る。同じ穴のむじなであるといふことを忘れてゐる。此調子だから日本は互に輕蔑し合ひ罵詈し合ひ離間し合ひ中傷し合ひ倒し合ひ殺し合ひせねばならなくなる。

日本人が朝鮮人、支那人、南洋人をば平等等觀の慈眼愛脇を以て之を認め服せしむることが可能である。私は容易に日本人に鄉に入つては從ふの寛裕なる世界精神がある。私は容易に日本人に鄉に入つては世界精神がない限り、私は亦容易に世界に移住し其移住先で意識に排斥の種を自ら持かない。ふことも斷言することが可能ない。

祖華盛頓の廟に参詣し用意せる花輪を捧げたる後偉人華盛頓の鴻業と米國の國是とを賛美するの表白文を朗讀した又此の日日本特使墓參の報が傳つたのでブアーノン山に赴ける米人二千餘名の多きに及んだ  
▲又特使一行が米國兵學校學生七百の閱兵式に臨み日本國歌の吹奏に嚴肅なる氣分に包まれつゝ校長の案内にて校内限なく參觀し其設備の整頓を賞賛し菅野海軍少將を始めど一行は當局者に種々なる質問を試みたが其中にも最も興味を寄せたるは校庭に於けるベルリ提督に依つて日本より運ばれた日本寺院の釣鐘にて又米國が開國以來戰勝毎に捕獲せらる各國軍旗陳列室中に日本の軍旗なりしこの面白き押問答があつて一行満足して華府に馳着した。

内 あ  
事 事業をば一時の積り  
業 ある。平和の事業をば一時の積り  
業 ある。大決心大奮發、決死の精神で遺る  
業 疲勞、困頓、遂には失敗せざる  
業 得ざるに至る。  
この調子で日本人は同胞間でも  
断に自己を他と差別したがるから  
本人は同胞相争ひ兄弟相鬭かざる

● 石井特使の國神廟參拜

讀者記者

記者足下當サントバウロ州に行はる  
法律命令中我々日常生活に關する  
ことで一寸日本で想像の出來ぬもの  
が大分ある。誰れでも當國に少しく  
住居すれば直ぐに慣れて仕舞つて氣  
の附かぬ様になるが念の爲め少しく  
左に話して見よう。

(サン)バウロ市では日曜日の全日及  
び國祭日又は州祭日の午後は市内何  
處でも商店を開くことが禁じてある。  
尤もこれには例外が澤山ある。藥屋  
宿屋、料理屋、珈琲店、球突屋、湯屋  
煙草屋等は其例外である又たパン屋  
肉屋一般食料品屋、汽船會社代理人  
兩替屋などは十二時迄は開店して差  
支ないことになつて居る其他にも例  
外がある尙ほ一般に商店は夏は十時  
冬は九時に閉むることになつている  
小供の屍體でも墓場へ手で持ち行  
くことは絶対に禁じてある又た得手  
勝手に死體を日乗の馬車で持ち行く  
ことは出來ぬ

「アベニダ・パウリス」には牧牛を  
運送することは禁止してある

首府下到所啼島の狩穀を禁じてある  
市街、廣衢、公園、大通等で野獸其他  
一切家畜類の縱覽をなすことを禁じ  
てある

自動車の速力は効外では一時間三  
十基米、住居地二十基米、市内中心市  
街では十二基米迄の速力を出さしむ  
ることになつて居る

犬の飼養主は税を拂ひ毎年登録の  
義務を負ふ

此等を犯したる者は何れも罰金等  
夫々の制裁がある

右は州令で禁じるものだが尙刑  
法で伯國全體に亘る犯罪刑罰を規定  
して居る。序だから三四書き並べて  
拘留に處す(刑法三七七條)

當該官憲の許可なくして公園、街  
路及公共の場處に植付ある木を伐截  
破損又は植へ代へたる者及公共用に  
供する庭園、公園を害したる者には其  
損害を賠償せしめ且つ八日乃至十五

の拘留に處す(刑法三九〇條)  
身體健康にして労働に堪ゆる者が、食をなす時は八日乃至三十日の拘留に處す(刑法第三九一條)  
酒興者は十五日乃至卅日の拘留に處す(刑法第三九六條)  
公衆の往来する場處に於て他に對して之を酩酊又は酩酊を増進する爲めに飲料を提供した者は十五日乃至六ヶ月の拘留に處す(刑法第一九〇條)  
夜間許可を得ずして他人の家屋に侵入し、其附屬物内に侵入した者は二ヶ月の拘留に處す(刑法第一九一條)  
父は効入又は其居住者の意思に反して居残る者は一ヶ月乃至三ヶ月の拘留に處す(刑法第一九八條)(法律生  
法律、命令、規則と云ふ様なものでは伯爵の常食にして豆の一種である豆類の滋養質に富むから能く専門家の言を聞ては法律や規則に觸れて罰せられない様のであるから單に常識を以て判断しがたい事柄が少くない、でもあるから能く専門家の言を聞ては法律や規則に觸れて罰せられない様に注意する所要である(記者)

▼衛生講話

醫師 高岡專

蛋白質		一〇〇グラム	
含水炭素	四八〇 同	脂肪	二〇 同
白米	六	蛋白質	七一
小麥	一一	含水炭素	〇、三
牛肉	二〇	脂肪	
豚肉	一七		
小豆	一八		
隱元豆	二〇		
フエジョン豆	五三		
	推定一、〇		
此表を見ると豆類が一番人間に必要な成分を都合良く含有していることの			
植物繊維素と云ふ物で全くの不消化物で謂はゞカスであるが腸に適度の世戦を與へて運動を起し内腔の疏通を計る爲に甚だ有用なものである此			
纖維素も豆類に最も適當に含まれている古から小豆が脚氣の薬だと云はれたのは要するに此纖維素の爲めに事は大なる誤りである事が了つて來る			
近來營養物に關する研究が漸次精細化され常に病理解剖の方面で自家中毒云ふ事が盛に研究されている之れは遺傳的因子に取つた必要量以上の食物の異常分解産物若しくは當然排泄されることは多いがその多くは日本に多くある慢性的腎炎疾患の原因となる血管硬化症便秘症等の婦人に多い頭痛なども皆自家中毒に因る者が多いとされている斯の如き不用物が一定時間腸管内に停滯してゐる時は其異常成分为體内に吸収され種々なる有害作用を醸すところである然らず日本では十三貫五百の體量を有する農夫を標準として下の如く計算されてい			
但し各人の體格働きの程度に依り様にはならぬ			
次に主要食物の成分を擧げて見る。各百グラム中に含まれる、成分分量			

此點に於てフェジョンは、  
來てゐる況んや調理に際し、  
メ食鹽を附加し喰ふ時に池  
を容易くする等の事は大へ  
意を得た者で恐らく誇る  
優良な食物であると思考す  
●風悲し奥田市長  
男の遺骸は廿六日早朝駆逐  
運ばれ東京市名譽參事員波  
び中央大學其他より寄贈の  
日東京全市に弔旗飄り日本  
●東京市長の椅ア  
虚となりし東京市長の後任  
自らより再び市長を出さざ  
るを以て市長の椅子は當局  
氏市長代理を勤むる筈な  
萬圓を寄附したり

●木戸孝正侯爵萬  
一日逝去せり

●菊池樞密顧問官  
●商船貸出禁止 帝國  
●青島の軍事施政撤廃  
●支那政府參議院設立  
●關西學院へ一萬  
は其經營する汽船事業にて  
萬圓を寄附したり

●石井特派使節の聲明  
使の一行為は市民の熱誠な  
る政策を以て亞細亞に於ける  
の領土保全と開港政策はほ  
も又うの意を諒せらるべ  
●新航路 グレイス商船  
期航路を開始すべく決定  
●無線電信新設 去るは  
用無線電信はるの遠距離  
これに依りて世界いづれの

理想的に出  
し油でイタ  
演して消化  
いに吾人の  
の理法に合致した道で衛生上に於て  
に足る可き當國に適應する方法の一つである  
する近時識

卷之三

七

事業に  
各

● 風悲し奥田市長の市葬儀  
男の遺骸は廿六日早朝麹町區中六番町の自宅運ばれ東京市名譽參事員濱澤男其他の吊辭び中央大學其他より寄贈の花輪に圍まれて日東京全市に弔旗翻り日比谷原頭の風悲し

● 東京市長の椅子は當分空虚  
虚こなりし東京市長の後任者に就き種々な自黨より再び市長を出さんと早くも運動を起るを以て市長の椅子は當分主人公無かるべく市長代理を勤むる筈なり

● 木戸孝正侯爵薨去  
宮中顧問官

官従二位木戸孝正侯爵八月十九日より日比谷公園の葬儀場にて葬儀を行はれ東京市吏員及び後任決定迄助役高橋要次郎

●當社は九百數十家族の各國人土地所有者を有し  
其の中日本人は二百有餘家族にして現在者百家  
族何れも入植後日尙淺きにも不拘著しき成績を  
挙げつゝあるは今更喋々するを要せず一度視察  
して偽らず飾らざる絶好殖民地の眞實を知られ  
にし

聖波羅土地木材殖民會社

●當社はチエテ、リヲフイユの兩河の間七十キロメートルに渡り數万アルケーレスを有する本州最大の殖民地にして水質良好、氣候溫和なる膏

●當社は九百數十家族の各國人土地所有者を有し  
其の中日本人は二百有餘家族にして現在者百家  
族何れも入植後日尙淺きにも不拘著しき成績を  
挙げつゝあるは今更喋々するを要せず一度視察  
して偽らず飾らざる絶好殖民地の眞實を知られ  
にし

●當社は九百數十家族の各國人土地所有者を有し  
其の中日本人は二百有餘家族にして現在者百家  
族何れも入殖後日尙淺きにも不拘著しき成績を  
挙げつゝあるは今更喋々するを要せず一度視察  
して偽らず飾らざる絶好殖民地の眞實を知られ  
たし 御用の向きは左記の場所へ御照會ありたし

**Companhia de Terras, Madeiras e Colonizacão de São Paulo**  
Biriguy.  
**LINHA NOROESTE.**  
**Director-gerente Dr. James Mellor**

○米作地として有名なり

「イグアペ植民地

百間は一見に如かず、植民地を撰定せんとする者は先づ「イグアペ」植民地を視察すべし、サントス港よりイグアペ郡レヂストロに到る道案内左の如し。

滸車のサントス港發は毎週月曜水曜の兩度午前九時二十分發にして同列車のジユキア着は同日午後四時なり。此の間の二等滸軍賃は金十ミルレイス

伯刺西爾拓殖株式會社  
ニキアには停車場近くに小旅館二軒  
泊料一日参ミルレイス内外なるも、  
の爲め投宿の際取極め置くを安全  
朝流船又はガソリンランシャに乘込  
ニアを出發せば同日午前中にレヂス  
到着す、此の間の運賃は金参ミル

● 視察に最も便利なる

ノイタヘ相良



## 農界資料

## 北米に於ける

## 一作農法の弊

此の一篇は本田農學博士が北米に於ける同胞の農業情態を觀察して、其の難處なるも伯刺西爾に在る我々亦取つて参考とすべきもの少なからざるを以て之を農界資料の部に掲げ諸君の一粲に供する事にした

朝鮮勸業機械範場長

農學博士 本田 幸介

予は北米殊に加州を巡視して感じた事少なしこそめぬ只知時間の見聞の事にて之等が悉く正鶴を得て居るや否やは自から多少疑問とする所で此點は諸君の取捨を願ふより外はない最も先づ眼に付いたのは一作農法の弊である只に加州と云はず合衆國は早く開けた太西洋沿岸の一部を除くの外は南部でも西部でも乃至中央でも梅端なる一作農業である甚しき野菜の如きのを一箇所何千町歩の面積に一齊に栽培して居る或はセローリーとか或は馬鈴薯を四千八百町歩もに亘つて栽培して居る有様で御承知如きは馬鈴薯のみを四千八百町歩も

第一 同じ作物を同じ處に植付けると作物の要求する養分は時も同じであるから其の土地は勢ひ速かに疲瘧する。

第二 同じ作物を同じ處に植付けると播種、除草、收穫の際に於てどうしても勞力が不充分になる即に疲瘧する。

第三 同じ作物を同じ場所に栽培するには勞力は不足を告げるこ

とにくなる殊に況んや米國の如き勞銀の高い處に於ては斯かる事は農業經營上最も忌むべき事である

第四 若し不幸凶作に遇へば作物全部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五 不幸凶作に遇へば作物全部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六 同じ作物を同じ處に植付けると作物の要求する養分は時も同じであるから其の土地は勢ひ速かに疲瘧する。

第七 同じ作物を同じ場所に栽培するには勞力は不足を告げるこ

とにくなる殊に況んや米國の如き勞銀の高い處に於ては斯かる事は農業經營上最も忌むべき事である

第八 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第九 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十一 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十二 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十三 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十四 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十五 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十六 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十七 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十八 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第十九 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十一 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十二 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十三 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十四 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十五 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十六 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十七 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十八 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第二十九 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十一 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十二 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十三 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十四 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十五 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十六 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十七 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十八 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第三十九 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十一 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十二 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十三 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十四 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十五 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十六 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十七 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十八 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第四十九 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十一 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十二 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十三 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十四 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十五 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十六 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十七 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十八 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第五十九 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十一 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十二 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十三 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十四 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十五 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十六 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十七 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十八 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第六十九 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第七十 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第七十一 若し不幸凶作に遇へば作物全

部が駄目となるから非常に困難陷入頗る困難を感する。

第七十二 若し不幸凶作に遇へば作物全



